

養気軒

ようきけん

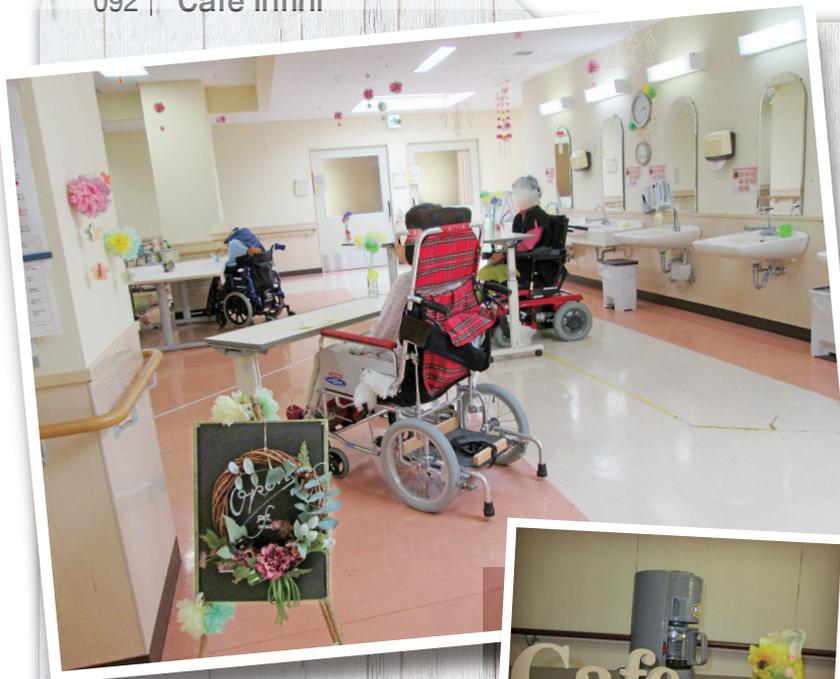


vol.92
2022 Autumn

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

092 | “Café Infini”

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



“Café Infini” でカフェタイム

8病棟では、月1回病棟カフェ“Café Infini”をOPENしています。“Infini”はフランス語で「無限大∞」を意味し、8病棟の8を横にした形となっていることから、病棟を表現する言葉として、またゆっくりと過ごしていただける場が無限に広がるよう名付けました。

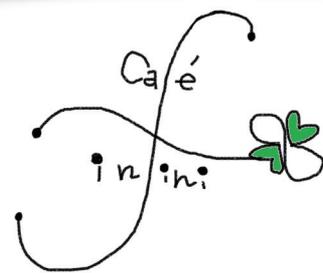
“Café Infini”は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、病院外に外出することを制限され、また院内のカフェテリアへ行くことが難しい患者さんにも病棟内でリラックスしてご参加いただけるように、病棟と療育指導室で協働し始めました。

病棟食堂をカフェの場とし、車椅子の方々が集えるようにしたり、時にはベッドサイドまでデリバリーということもあります。

普段はドリップコーヒーの香りが病棟中に漂い、香りからも楽しんでいただいておりますが、夏にはトロピカルな雰囲気と氷を準備して涼しさを、秋にはハロウィンの装飾と仮装等、それぞれの季節を感じていただけるよう趣向を凝らしたカフェタイムを演出しています。

まだまだ新型コロナウイルス感染症は流行しています。感染対策には十分に配慮したうえで、“Café Infini”が、「一息つく場」、「気分転換やくつろぎの場」となるよう努めてまいります。◀

(主任保育士 松本 明美)



患者さんとご家族を想い…

8病棟 副看護師長 **田島 笑奈**

新型コロナウイルス感染症対策のため、長期に亘り患者さんとご家族の面会制限が続いています。

感染対策状況に応じてオンライン面会も実施していますが、日程や時間、回数に制限があり、ご希望に添えないことも多く、ご家族にとってはご心配も尽きないことと思われま。そのような中、8病棟では昨年末にクリスマスカードを、8月には暑中お見舞いを兼ねて患者さんの日常の姿を写真に収めたお手紙を、ご家族に向けて送付させていただきました。

担当の看護師・療養介助専門員が、患者さんの日頃のご様子についてメッセージを記載しており、ご家族からは「お手紙ありがとうございました」「顔が見られて安心しました」等のお声も寄せられました。

感染対策を講じながら、カラオケやボーリング・折り紙・手芸などの日中活動に参加されている姿や車椅子で散歩されている姿、ベッド上で微笑まれる姿が、ご家族にとって少しでもご安心につながればと思っております。

1日も早くこの状況が終息し、患者さんとご家族が直接お会いできる日が来ることを願います。



9月5日より「脳血管外来」始めました!!

高齢者の増加に伴って、脳梗塞・脳出血の発症が増えていきます。

『脳梗塞・脳出血が気になる』『検査してもらいたい』『発症予防について聞きたい』など、患者さん及びご家族のニーズに応える『脳血管外来』を始めました。

病院長

はじめました!



《脳血管外来》

診察医：戸田脳神経外科部長

外来日：月曜日 14時～16時

*受診前に必ずお電話ください。

電話：0956-82-3121 (脳血管外来)

医療ビッグデータについて

総合情報管理室長 宮崎 哲彦

皆さんご存知のとおり、現代では身の回りのあらゆるものがインターネットに接続するようになり、世界中の至る所で多種多様な情報が常に発生し、収集・蓄積されています。このように蓄積された大量の情報をビッグデータと呼んでいますが、医療の世界においてもビッグデータは非常に重要なものです。

国立病院機構でも「国立病院機構診療情報集積基盤」(略称NCDA)、いわゆる医療ビッグデータの運用を行っており、個人が特定されない状態の診療情報を収集し、厳密な管理のもと多角的な分析を行っています。

現在、医療ビッグデータを分析した結果は、医療の質の向上、臨床研究および経営支援、より良い患者サービスの提供などに活用されているところですが、今後更に将来起こり得る病気を発症前に診断・予測する先制医療や個人に応じた医療を提供する個の医療の



実現、新薬や新しい医療機器の開発などより多くの分野での活用が見込まれており、我々医療従事者も大きな期待を寄せているところです。

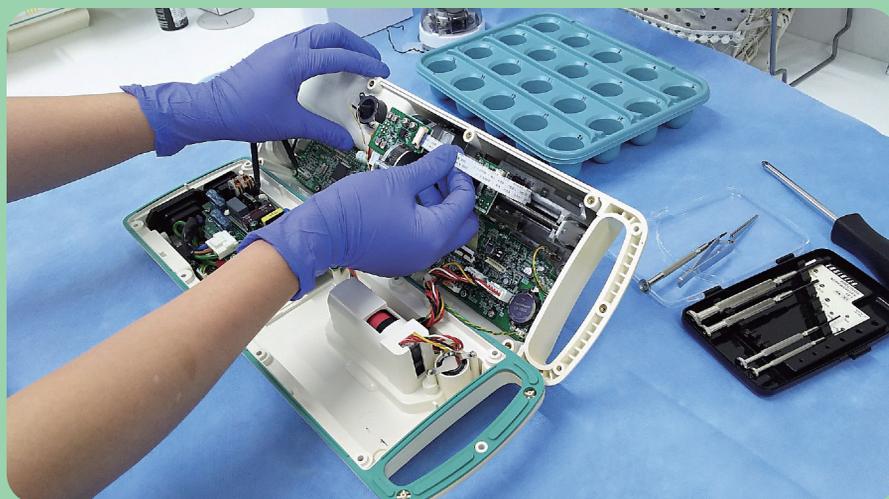
医療機器の点検について

医療機器管理室長 津田 真実

医療機器も、日常点検の他、車検の様に定期点検を行わなければなりません。日常点検は、清掃と動作確認などがメインですが、定期点検はバッテリーなどの消耗部品の交換を行います。

各医療機器のメンテナンス講習を受け、定期点検を院内で迅速に行うことを心がけています。医療機器の構造や原理を学ぶため、その機器でトラブルが発生した場合、何が原因だったかを推測しやすくなり、素早く対処ができます。

医療機器管理室では、積極的に院内での定期点検を行い、機器の知識を臨床に生かせるよう努めてまいります。



診療科紹介(皮膚科)

皮膚科医師 **清原 龍士**

開業医の先生方からのご紹介や入院患者さんを中心に、皮膚科一般診療を行っています。皮膚生検をはじめとした様々な診断のための検査も行っていきます。

皮膚疾患に対する外用療法、腫瘍切除術、尋常性乾癬・脱毛症などに対しては『光線療法』などを行っています。入院患者さんは、蜂窩織炎、帯状疱疹、手術目的の方などです。

様々な皮膚に関するお悩みに耳を傾けていければと思います。

皆様のお役に立てる様、今後も尽力してまいります。



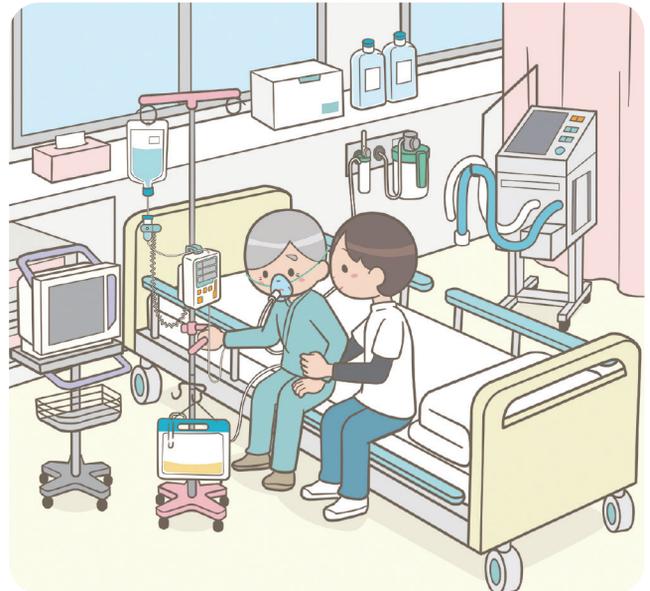
部署紹介(3階病棟)

3階病棟 看護師長 **蛭原 勇治**

3階病棟は、外科・脳神経外科・整形外科・循環器内科を中心とした急性期の患者さんを受け入れる病棟です。病棟看護業務においては、周術期管理や化学療法、その他の専門的治療や処置などに対する幅広い知識と技術が求められます。

また、ご高齢の患者さんや入退院を繰り返される患者さんも多く、患者さん・ご家族への支援、地域との連携に力を入れています。

多職種チームで協働し、患者さんにご家族が病気と上手に付き合いながら、その人らしく過ごせるよう、看護および支援をさせていただいています。



編集後記

主任保育士 **松本 明美**

今年の上半期が過ぎました。今年の夏も短い梅雨から一気に猛暑日が続ぎ、毎日のように熱中症アラートが発令される日が続いています。

また、新型コロナウイルス感染症も日に日に増加し第7波の大波となっており、体調管理に十分に配慮しなければならぬ状況が続いています。

皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

上半期は明るいニュースが少なく、安倍元首相の銃撃事件をはじめ、日本各地で大雨による自然災害等の恐怖を感じるニュース、不安や心配なことばかりが多

かったように思います。

とはいえ、少しずつ各地での行事、イベント等は感染対策がとられながら開催されるようになってきました。以前のような盛り上がりとはいかないでしょうが、少しでも気分が晴れることのできる明るい話題やニュース等が多くあることを願うばかりです。

初秋とは名ばかりの残暑が続いていますが、引き続き感染症、熱中症対策等体調管理に努めながらお過ごしください。